

団体名： 平和町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等					
				指標	数値	指標	数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②				
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、金融・税務・労務等経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、新規開業・創業予定者に対する相談窓口を設置し、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 267社 ・巡回窓口指導延件数 712件 ・課題解決提案件数 26件 ・経営革新承認件数 0件 ・非会員指導実企業数 4件 ・非会員指導延件数 4件	小規模事業者・新規創業予定者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 111.3%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 86.7%)		小規模事業者に対して、巡回・窓口相談を積極的に進め、経営の安定に努めた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も小規模事業者のニーズを把握し、問題解決に努めていく。	
				目標数値	640	実績数値	712	目標数値	30				実績数値		26	B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						B		B	現行どおり	現行どおり			
記帳継続指導事業	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の適計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	指導日数： 226日 指導延回数： 600回 対象事業者数： 47事業所	小規模事業者(個人事業主)	指標	記帳指導事業所数 (達成度 94.0%)		指標	(達成度 %)		小規模事業者に税務指導をすることで、記帳、決算、確定申告の詳細だけでなく、節税対策や事務負担の軽減に繋げることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後、消費税等の大幅な税制改正が見込まれるため、小規模事業者の税務知識を高めてもらうためにも今後も実施していく。	
				目標数値	50	実績数値	47	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						B		B	現行どおり	現行どおり			
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営知識の習得や、時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	・個別講習会 8回 45名 ・税務講習会 1回 1名 ・労務相談所 1回 1名 ・集団講習会 講演会 4回 ・商工会合同開催 1回 7名 ・労務講習会 2回 25名 ・経営講習会 3回 31名	小規模事業者	指標	講習会出席者数 (達成度 85.8%)		指標	(達成度 %)		時代にあった内容の講習会を開催することにより、知識や情報を習得し、参加者の資質向上や自己啓発に繋げることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も小規模事業者の意見を聞きつつ、質の高い講習会を実施していく。	
				目標数値	127	実績数値	109	目標数値					実績数値			B	A	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						B		B	現行どおり	現行どおり			
若手後継者等育成事業	商工業者の若手経営者・後継者を対象に、経営に必要な知識の習得や資質向上を図るための講習会を開催し、地域の活性化を担うリーダー的人材の育成を目指すことを目的とする。	セミナーの開催 1回 13名	若手経営者後継者等	指標	講習会出席者数 (達成度 108.3%)		指標	(達成度 %)		予定していた、全国大会への出席は調整がつかず参加できなかったが、セミナーについては、参加者の要望にあった内容で開催することにより資質向上に繋げることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も若手経営者・後継者の資質向上を図り、次世代経営者等の育成を強化していく。	
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						B		B	現行どおり	現行どおり			
地域振興祭事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産業PRの機会をすともとに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	第24回さくらまつり 4月7日(協力者数 58名 来場者数 3,000人) 第20回サマーフェスタへいわ 8月4日(協力者数 91名 来場者数 5,500人) 第13回へいわまつり(協賛) 11月4日(協力者数 70名 来場者数 3,500人)	地域住民小規模事業者	指標	協力者数 (達成度 109.5%)		指標	(達成度 %)		商工会が主体となってイベント事業に取り組み、商工会のPRができ、住民との交流を深め、地域貢献に寄与することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果 A	満足度	補足	目標①	目標②	地域振興のため、住民との交流が深まるよう市と協議しながら今後も引き続き開催していく。	
				目標数値	200	実績数値	219	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						A		A	現行どおり	現行どおり			
福利厚生事業(各種共済事業)	中小企業の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度を普及し、企業の健全な育成に資することを目的とする。	小規模企業共済 80名 経営セーフティ共済 3名 特定退職金共済 19名 中小企業退職金共済 23名 さくら共済 118名 中小企業共済 215名 総合共済 49名 中小企業PL保険 3名	小規模事業者	指標	共済加入者数 (達成度 96.2%)		指標	(達成度 %)		会員宛発送文書でPRするとともに税務指導時や、雇用相談時にそれぞれの事業者のニーズにあった共済を推進することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も自己財源の確保と従業員の福利厚生上の充実のため引き続き推進する。また、内容について情報提供する機会を増やしていく。	
				目標数値	530	実績数値	510	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						B		A	現行どおり	現行どおり			
健康普及事業	中小企業の経営・雇用の持続的な安定を図るため、従業員の健康診断を実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。	7月3日 受診企業数 33企業 受診者数 309名 1月17日 受診企業数 21企業 受診者数 180名	小規模事業者	指標	受診者数 (達成度 104.0%)		指標	(達成度 %)		商工会がまとめて健診バスを手配することにより事業所の業務軽減や健康診断の受けやすい体制を整えることができた。また、従業員の健康意識の向上にも繋がった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	健康に対する意識の多様化に対応すべく、オプション等の受診項目を充実させながら、今後も引き続き実施する。	
				目標数値	470	実績数値	489	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						A		B	現行どおり	現行どおり			
部会・委員会事業(労務改善研究部会)	労務改善研究部会の活動を通じて、従業員の労務管理や安全衛生活動等を推進し、企業の発展に資することを目的とする。	7月25日 セミナー 参加者数 14名 2月25日 セミナー 参加者数 16名	労務改善研究部会員	指標	事業参加者数 (達成度 150.0%)		指標	(達成度 %)		今年度は講習会を2回開催したことによりより適切なタイミングで労基法の改正や、雇用状況等を提供することができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	今後も法改正や最低賃金、雇用状況や助成金などの情報提供のためにも、講習会を引き続き開催していく。	
				目標数値	20	実績数値	30	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						A		B	現行どおり	現行どおり			
部会・委員会事業(商工業部会)	商業・工業の部会活動を行うことにより、参加企業の情報取得による経営知識の向上、発展に資することを目的とする。	1月25日 視察研修会実施 参加企業数 29社 参加者数 44名	商工業部会員	指標	参加者数 (達成度 110.0%)		指標	(達成度 %)		異業種交流を深め、親睦、情報交換の促進を図ることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	昨年に引き続き、定員を増やすことも検討しながら今後も開催していく。	
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値					実績数値			B	B	現状維持		現状維持
				必要項目			必要項目						A		B	現行どおり	現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 平和町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	今後の展開・改善点等	
部会・委員会事業 (食品衛生部会)	食品衛生部会の活動を通じて、食品衛生知識の普及と自主管理体制の整備の強化を図ることを目的とする。	検便 2回 参加者数 22名 製品検査 2回 参加者数 5名 ふきとり検査 3回 参加者数 8名	食品衛生部会員	指標	事業参加者数 (達成度 61.8%)		指標	(達成度 %)		検便や自主検査の実施を通して、食品衛生管理を図ることができた。検便の受付を商工会で行なうことにより、事業者の負担軽減に繋げることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 A	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も実施していく。	
部会・委員会事業 (交通安全部会)	交通安全部会の活動を通じて、交通安全意識の高揚を図り、各企業に交通事故防止の啓発を積極的に推進し、企業の発展に資することを目的とする。	街頭監視活動(毎月0の日) 23回 参加者数 169名 各季節のシートベルト開所 4回 参加者数 110名 視察研修会 11月27日 17名 講習会 3月6日 17名	交通安全部会員	指標	事業参加者数 (達成度 104.3%)		指標	(達成度 %)		シートベルト開所や街頭監視活動に取り組むことでドライバーに安全運転の呼びかけができた。また警察署員の講習会により改めて交通安全意識を高めることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も、交通事故防止のためシートベルト開所、ゼロの日の街頭監視活動等を実施していく。	
税務関係団体指導事業 (青色申告部会・法人部会)	青色申告部会・法人部会の活動を通じて、会員の税務知識の向上を図り、商工会の活性化に資することを目的とする。	確定申告取りまとめ消費税込申告書面 21件 e-tax 13件 青色申告書面 57件 e-tax 67件 白色申告書面 3件 e-tax 5件 贈与税申告書面 6件 e-tax 0件 様式A申告書面 29件 e-tax 14件	青色申告部会員 法人部会員	指標	確定申告取りまとめ件数 (達成度 119.4%)		指標	(達成度 %)		確定申告のイータックスの代理送信を積極的に行なうとともに、正しい申告、納税を推進することができた。マイナンバーについても毎年説明することにより理解を深められるようになった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	引き続きイータックスの普及に努めるとともにマイナンバーへの理解を深めてもらう。	
調査・広報事業	商工会の広報誌である「商工会だより」を発行し、関連施策をPRし、制度の周知をするための広報活動を行う。	商工会だより 年2回発行 発行部数 407部 関連施策パンフレットの配布 毎月1回程度配布	小規模事業者	指標	周知数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		商工会の活動について、情報を発信することができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も事業者への情報提供のため引き続き実施していくが、小規模事業者数の減少のため、発行部数を減らす。	
労働保険事業	事業者等の委託を受けて、事業者に代わって労働保険の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務処理を行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	現在委託事業者数 63企業 年度更新手続完了 全期分保険料納付済 随時・労災手続指導 雇用保険取得喪失手続 離職票作成	労働保険委託事業所	指標	委託事業者数 (達成度 108.6%)		指標	(達成度 %)		労働保険料に伴う事務代行を行うことで、事業者の事務負担を軽減することができた。また事業者から手続等との相談に対しても迅速に対応することができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も労働保険加入対象事業所の未加入がないよう周知し、労働保険事務組合委託事業所数の増加に努める。	
異業種交流事業	新年に賀詞交歓会を開催し、企業交流の場を提供し、各企業の経営基盤の強化、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	1月11日開催 参加者数 84名	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 105.0%)		指標	(達成度 %)		同じ地域内であっても初めて知る事業所も多く、参加会員からも様々な情報を得ることができたという声もあり、異業種交流の場として、経営基盤の強化に繋がった。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	異業種交流の場として参加者からも好評であるため今後も引き続き実施していく。	
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 役員会等10回 49名 研修会 1回 5名 イベント協力 3回 19名 女性部 役員会等4回 47名 視察研修会 1回 12名 イベント協力 2回 13名 その他 11名	青年部員 女性部員	指標	青年部事業参加者数 (達成度 73.0%)		指標	女性部事業参加者数 (達成度 207.5%)		事業を通じ、部員間の異業種交流を深めるとともに、イベントに出店協力することで地域の活性化に貢献した。また女性部については急速実施した事業もあり参加者数の大幅な増加に繋がった。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	部員間の交流を深めるとともに、地域貢献を図るため今後も実施していく。31年度は女性部もさくらまつりに出店予定である。	
地域振興事業 (地域懇談会事業)	地区別の懇談会(支部懇談会)を開催し、地域の実態把握及び地域活性化に向けた各種事業の取り組み、地域振興とともに地域商工会の発展に寄与することを目的とする。	4月16日 三宅地区 16名 4月17日 法立地区 10名 4月18日 西光坊横池地区 14名 4月19日 下起地区 12名 4月20日 六輪地区 15名	小規模事業者	指標	参加者数 (達成度 89.3%)		指標	(達成度 %)		各地区に直接職員が赴き開催することで、地域の問題点、商工会への要望等を把握することができた。また、商工会の事業活動等も会員企業に直接伝えることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	各地区ごとに開催のため少人数での意見交換が可能であり継続を要望する声が多かったため今後も開催していく。	
地域振興事業 (地域対策活動事業)	中学生の職場体験学習事業において、商工会が地元企業を紹介し、受入企業のとりにめを行う。中学校と密接な連携を保ち、地域の活性化に資することを目的とする。	8月21日～8月24日 4日間の内3日間実施 中学生参加者数 106名 職場体験受入企業数 32企業	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 71.1%)		指標	(達成度 %)		中学生と地元企業との交流を図ることで、会社のPRや職場の活性化、地域への貢献ができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 調査結果 A	満足度 B	補足 地区内小規模事業者(事業一括アンケート) 70件	目標① 現状維持	目標② 実施方法① 実施方法②	受入企業が減少傾向のため新規企業に声をかけながら今後も実施していく。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。